

増刊号

広報わらび

平成24年第1回蕨市議会定例会

施政方針表明全文



3つの基本方針に基づく平成24年度の予算編成

No.729

発行：蕨市役所
蕨市中央5丁目14番15号
☎048-432-3200
メール：hisho@city.warabi.saitama.jp



平成24年第1回蕨市議会定例会初日（2月23日）



市内89施設1,119か所で放射線の詳細測定を実施

そこでは、ここで、平成24年度予算編成の基本的な方針を申し上げます。日本一のあったか市政を目指して、市民の皆さんとともに進めてきた1期目の市政運営の成果の上に立って、既に、2期目の新しいマニフェストに基づき、各種施策をスタートさせているところですが、2期目の最初の予算となる24年度予算では、その本格的な実施を図っていききたいと考えています。

◆安全安心のまち
第1のビジョン、「安全安心のまち」では、東日本大震災の教訓を生かし、災害に強

がんばる日本人のすばらしさも示されました。去る2月10日には、復興庁が発足しましたが、今年が、復興に希望が持てる年になるよう、日本全体が心を一つに総力をあげなければなりません。蕨市では、震災発生以来、市民の皆さんのご協力をいただきながら、被災地支援に全力をあげてきましたが、引き続き、震災からの復興に力を尽くしていきたいと思えます。原発事故による放射線への対応では、蕨市においても、市民の不安が広がり、対応が迫られました。こうした課題については、前例がないなかで、地方自治体として、何を

「3つのビジョン」を形にする重点事業

すべきなのか、どこまでできるのか、たいへん難しい課題でありましたが、こういうときこそ、市長のリーダーシップが必要であると考え、国より厳しい独自基準を定め、学校など子どもたちに関わる公施設の間放射線量の詳細測定と除染作業を行うとともに、

に、学校給食や保育園給食についても、いち早く、市独自に食材の放射性物質の調査を行うなど、市民、とりわけ子どもたちの安全安心を最優先に対応してまいりました。この問題では、今後とも継続的に放射線の測定を行うなど、必要な対応を続けてまいります。

平成24年第1回蕨市議会定例会

施政方針表明全文



平成24年第1回蕨市議会定例会が2月23日から3月22日まで開かれました。この議会は、市が1年間の行政を進めるための予算を審議する議会でもあります。増刊号では、議会初日に頼高よりたかひでおひでお英雄蕨市長が述べた、今年度の施政方針の全文をご紹介します。

ふるさと蕨の限りない発展へ 全力をあげて市政を運営

本日、ここに平成24年第1回蕨市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員各位には公私ともたいへんお忙しいなか、ご参集を賜り厚くお礼を申し上げます。今定例会は、平成24年度の当初予算をはじめとする重要な案件をご審議いただくことになりませんが、この際、私がこれからの市政運営に臨む基本的な考え方や新年度予算の編成方針、更には予算の概要と主な事業について申し上げ、議員各位並びに市民の皆さんのご理解とご協力をお願いするしだいでありたいと考えています。さて、我が国に甚大な被害

をもたらした東日本大震災から、まもなく1年が経過しようとしています。改めまして、震災で亡くなられた多くのかたがたに深く哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様から心からお見舞い申し上げます。被災地では、大震災と原発事故により、今なお、多くのかたがたが、ふるさとを離れ、不自由な生活を余儀なくされています。私は、市長として、誰もが「わがまち」と実感できるふるさとづくりを進めていくだけに、こうした状況に、たいへん心が痛みます。同時に、今回の震災のなかで、お互いに助け合い、ひたむきに

東日本大震災から1年〜自治体の使命〜



議会初日に施政方針表明する頼高英雄市長

いまちづくりを目指して、次の3点を重点的に進めます。第1点は、学校体育館の耐震化と大規模改修を24年度・25年度の2か年で終了させます。23年度補正予算において、市内4つの小学校の体育館の耐震化工事と大規模改修のための予算を計上しました。総事業費は約4億3000万円に達しますが、実施に当たっては、国の補助金を積極的に活用し、市の負担を極力少なくいたします。

また、残りの5つの学校体育館につきましては、24年度に設計を行い、25年度の工事を目指します。

このことにより、児童・生徒の安全を図ることはもちろん、



小学校4校の体育館耐震化工事を実施(東小学校)

ん、地域のスポーツ環境の改善、更には、避難所として安心の確保につながるものと考えています。

第2点は、水道などライフラインの更なる強化として、地震に強い水道を目指して、水道管の更なる耐震化と中央浄水場の電気機械設備の更新事業に取り組みます。

水道管の耐震化では、地下水を送水するための導水管など基幹管路を、約660メートルにわたり耐震化工事を予定しており、24年度末には、基幹管路の耐震化率は、全国平均の31%、埼玉県平均の30・6%を大幅に上回る86%に達する見込みです。

中央浄水場の更新事業につきましては、24年度から4か年計画で、総事業費は約9億4000万円を見込んでおり、初年度は、監視制御設備などの更新工事を行う予定です。

第3点は、自主防災組織への支援を強めることです。東日本大震災の教訓の1つは、地域の助け合いの力が重要であるということでした。

蕨市内には、37の自主防災組織があり、日頃から、自主防災訓練や防災研修会の開催

などを行っていただいておりますが、24年度においては、毎年行っている5万円の交付金の他に、20万円の特別助成金を交付し、地域の助け合いの力が更に高まるよう、支援してまいります。

◆にぎわいと活力あるまち

第2のビジョン、「にぎわいと活力あるまち」では、蕨の強みを生かした活性化策を進めることです。このほど発表された平成21年度の市民1人当たりの所得は、蕨市は年間303万1000円で、埼玉県内64市町村中8位、21年度のJR蕨駅の乗降客数は1日当たり約11万6000人で、県内のJR75駅中6位です。

こうした蕨のポテンシャルの高さ、更には、蕨の優れた地域力を生かして、商店、事業者、市民、行政の協働の力によって、日本一小さな市・蕨での活性化を進めてまいります。

具体的には、本年3月には、中心市街地活性化計画の推進母体となる蕨市中心市街地活性化協議会が設立する見込みであり、新年度は、その本格的な実施の年といたします。また、空き地、空き店舗活



新たなにぎわいの拠点「ぶらっと」

用として、昨年、社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会、通称、「まち連」と蕨市の協働で開設した県内初のワンデイシェフレストラン「ぶらっと」は、大きな話題となり、

新たなにぎわいを見せておりますが、新年度は、23年度に3店舗の出店につながるなど大きな成果のあった空き店舗有効活用事業を拡充します。

更に、町会が行う地域貢献活動に対するポイント制度を創設します。これは、まち連が行っている「くらしのポイント制度」と連携し、町会が行うごみゼロ運動などの地域貢献活動に対して、地元商店で使えるポイントを付与するもので、町会などの活動の活

性化と商店街の活性化をともに進める事業であります。そのほか、中山道にある歴史民俗資料館分館を文化と食の交流拠点として活用できるよう、関係団体との協議を進めるとともに、コンサルティング料を計上しました。今年、中仙道蕨宿開設40周年であり、実行委員会を中心に取り組む40周年記念事業に対して観光協会を通じて支援を行うとともに、歴史民俗資料館においても、40周年を記念する特別展を開催いたします。

◆子どもと高齢者に優しいまち

第3のビジョン、「子どもとお年寄り、障害者に優しいまち」では、埼玉県内でも珍しい取り組みである、市内民間企業との協働による特別養護老人ホームの整備を進めることといたしました。

入所希望者が多く、高齢者人口に対する整備率が近隣市と比べて低い蕨市において、特別養護老人ホームの増設は急務の課題となっており、この間、その実現に向けて検討を進めてまいりました。しかし、市域が狭く、市内

全域が市街化区域の蕨市においては、施設のための用地確保が欠かせない課題でありますが、市内には、じゅうぶん広さの市有地がなく、新たに土地を購入すると莫大な財政負担を伴うなど、たいへん難しい状況にありました。

そこで、民有地の所有者に奨励金を交付する新たな特別養護老人ホームの誘致策を検討し、南町2丁目に約2500平方メートルの土地を所有する、株式会社OKIプロサーブに協力の要請を行ったところ、企業としての地域貢献活動の一環として、蕨市の呼びかけに応じていただけることとなりました。

今後、土地所有者である株



特別養護老人ホーム予定地(南町2丁目)

式会社OKIプロサーブが社会福祉法人に土地を貸し付け、社会福祉法人が約90床の個室ユニット型の特別養護老人ホームの建設を進めることとなりますが、市としても、平成26年度中の開設に向け、支援してまいります。

また、猛暑から児童・生徒の健康を守り、学習環境を改善するために、平成23年度の小学校に続き、24年度には、

地域力生かした協働の推進と財政健全化

予算編成の第2の基本方針である蕨の優れた地域力を生かした協働のまちづくりの推進につきましては、さきほど申し上げた町会の地域貢献活



毎年6月と12月に町会ごとに行われる清掃活動

動に対するポイント制度を創設するほか、現在、市民参画協働のための条例制定に向けて、市民懇談会を開催しており、24年度中の制定を目指してまいります。

そして、この条例制定に合わせて、協働に向けた市民による事業提案制度を創設してまいります。

また、協働のまちづくりなど、ふるさと蕨を応援するための「ふるさとわらび応援基金」を設置します。

そのほか、市制50周年を機に始まったわらびりんごによるまちづくりは、今、市民参加による地域づくりとして大き

く発展しており、新年度は、わらびりんごを生かした商品開発を更に推進するなど、わらびりんごによるロマンあるまちづくりを支援してまいります。

予算編成の第3の基本方針である、財政健全化との両立でありますが、長引く景気の低迷と人口減少社会への突入、少子高齢化の進展など、我が国は、今、大きな転換点に直面してまいります。

そして、自治体財政も、たいへん厳しい状況におかれています。全国的に共通する税収の落ち込みに加えて、蕨市固有の課題として、戸田競艇配分金も、新年度は、当初予算としては、過去最低となる3億円となり、平成8年の21億2500万円と比べて18億円以上少ない額となります。

私はこうした時代状況のなかで、市長就任以来、さまざま施策を行いつつも、それ以上に経費削減の努力を行い、市財政の健全化と両立さ

せるべく市政運営に臨み、1期目の4年間では、市の借金を363億円から333億円に約30億円削減することができました。

そして、2期目のマニフェストでも、更に10億円以上の債務削減をお約束しています。こうした方針に沿って、23年度補正予算では、土地開発公社の更なる健全化に向けて、土地開発公社が保有する旧郵便局跡地約1650平方メートルを簿価約6億8000万円で購入し、戻しを行います。

その結果、平成18年度末には約77億円あった土地開発公社の債務は23年度末には約56億円に減少し、市全体の債務残高も、23年度末には324億円程度に削減される見込みです。

更に、24年度においては、人件費において約1億円の減少を見込むなど、引き続き、経費削減の努力を行い、債務残高を減少させてまいります。

申し上げます。

まず、歳入においては、不況の影響による税収の減少、

「6つの柱」で「新あったかプラン」を推進

それでは、以上のような基本方針に基づき編成した平成24年度一般会計予算の大綱を

更には固定資産税の評価替えによる減収などにより、市税収入は前年度より3億円少ない105億円と見込み、地方交付税と臨時財政対策債の合計額は地方財政計画等を踏まえて、1億5000万円の増額と見積もったほか、国庫支出金は主に子ども向け手当の見直しに伴い減額、戸田競艇組合からの配分金は特別競走の開催がなく、減額などとなっております。

一方、歳出においては、障

害者自立支援や介護保険事業特別会計繰出金などの社会保障関連経費をはじめ、雨水調整池などの整備に伴う公共下水道事業特別会計繰出金の増額を見込む一方、職員の退職手当を含む人件費総額や市債の元利償還金が大幅に減額となるほか、国の施策である子ども向け手当の見直しを反映させ、歳出予算総額は減額となっております。

その結果、一般会計の当初予算規模は、前年度と比べ6億1000万円少ない210億2000万円となっております。

また、特別会計においては、6つの特別会計で、総額は1



夜間防犯パトロールに励む須賀町町内会の皆さん

62億5700万円、病院・水道の企業会計合計額は43億5155万9000円であり、以上の全会計を合わせた平成24年度の蔵市全体の予算総額は416億2855万9000円となりました。

次に、2期目のマニフェスト「新あったかプラン」の6つの柱に沿って、具体的な施策について申し上げます。

◆防災、防犯、環境、まちづくりなど、安全安心、環境に優しい蔵へ

第1の柱であります「防災、防犯、環境、まちづくりなど安全安心、環境に優しい蔵へ」では、まず防災対策において、重点事業として申し上げた学校体育館の耐震化のほか、公

共施設の耐震化を更に促進させていくため、昭和56年の新耐震基準以前に建てられた、さくら・みどり・さつき各保育園の耐震診断に着手いたします。

次に、防犯対策では、町会をはじめ、市民の皆さんと行政、警察の一体となった取り組みにより、23年中の蔵市内の犯罪件数は、前年と比べて約18%減少し、埼玉県内における犯罪発生率ワースト2位から脱却することができましたが、更なる防犯対策の推進に向けて、自主防犯組織に対する防犯用品購入費の一部を補助する新たな予算を計上いたします。

更に、町会などからの要望を踏まえ、消費電力が少なく、寿命が長いLED防犯灯100基分の予算を計上しました。交通安全対策では、道路照明灯や反射鏡の整備をはじめ、車道と歩道を区分する白線や横断歩道などの標示を塗装し、交通環境の安全を確保する安心歩行エリア整備工事も引き続き進めてまいります。

錦町土地区画整理事業につきましては、予算全体が減少するなかでも、一般会計から1養成講座を開催してまいります。

更に子育て支援の充実に向け、保育時間が、現在、平日午後6時までの留守家庭児童指導室において、新年度からは、指導員の人数が確保できしだい午後7時までの延長保育を実施します。

そのほか、23年度から開始した各種予防ワクチンのうち、ヒブワクチンについては、助成額を1回4000円から7000円に、小児用肺炎球菌ワクチンについては、1回4000円から8000円に拡充いたします。

◆介護、健康づくり、障害者福祉など、誰もが安心して暮らせるまちづくり

第4の柱である「介護、健康づくり、障害者福祉など、誰もが安心して暮らせるまちづくり」では、一定年齢に達したかたを対象に、無料クーポン券を発行して、勸奨通知している個別勸奨がん検診において、子宮頸がん乳がん検診のほかに、新年度は国庫補助金を活用して大腸がん検診も実施してまいります。いづれのがんも、早期発見、早期治療が有効なганといわれ



北町一丁目雨水調整池築造工事の様子(2月16日)

の繰り出し金は、僅かながらも前年度より増額とし、国庫補助金などの活用も図り、特別会計の規模は約2.1%の伸びとなり、29棟分の家屋移転や街路整備、仮設住宅の建て替えなど、更なる促進を図ってまいります。

環境に優しいまちづくりでは、地球温暖化対策の一環として、自然エネルギーの有効活用を促進するため、住宅用太陽光発電システムなどの設置費に補助する地球温暖化対策設備等設置費補助金を新たに設けます。

補助金は、みずから居住する住宅に太陽光発電システムを設置した場合、10万円を補助するほか、太陽熱温水器の設置も補助いたします。

障害者福祉では、総合社会福祉センターの「ハート松原」及び「レインボー松原」が障害者自立支援法に基づく新体系施設へ移行し、4月より多機能型事業所「スマイラ松原」として開設します。新体系施設への移行に伴い定員を80人に拡大し、「生活介護」、「就労継続支援」、「就労移行支援」の3事業を実施します。

介護保険につきましては、第5期介護保険事業計画に基づき、介護給付費の伸びなどにより、介護保険料を基準額で月額3900円から4500円に改定する条例改正案を提出させていただいておりますが、介護保険準備基金をほ

ており、受診率の向上を図ります。

また、21世紀の市民の健康づくりの輪を更に広げていくため、第2次健康わらび21計画を策定します。

障害者福祉では、総合社会福祉センターの「ハート松原」及び「レインボー松原」が障害者自立支援法に基づく新体系施設へ移行し、4月より多機能型事業所「スマイラ松原」として開設します。新体系施設への移行に伴い定員を80人に拡大し、「生活介護」、「就労継続支援」、「就労移行支援」の3事業を実施します。

介護保険につきましては、第5期介護保険事業計画に基づき、介護給付費の伸びなどにより、介護保険料を基準額で月額3900円から4500円に改定する条例改正案を提出させていただいておりますが、介護保険準備基金をほ

設置やガスを燃料とするエネルギーの消費効率に優れた高効率給湯器の設置には5万円を補助します。

また、老朽化した高規格救急自動車の更新を図るほか、公共下水道事業では、23年度に積み立てた公共下水道基金4億円を活用し、23年度からの継続事業として、わらび公園地下の雨水調整池築造工事を進めるとともに、錦町地区を除く合流式下水道地域において、放流水の水質改善を図るため、総事業費約6億5000万円を見込み、2か年事業で、南町ポンプ場に汚水を高速で流す過剰施設を整備する合流改善事業を推進いたします。

◆地域活性化、元気な商店街、文化スポーツなど、にぎわいと活力ある蔵へ

第2の柱であります「地域活性化、元気な商店街、文化スポーツなど、にぎわいと活力ある蔵へ」では、さきほど申し上げた重点事業のほか、地域住民が、福祉や環境などの地域課題をビジネスの手法で解決するコミュニティビジネスの普及を図るため、市民向けの講座を開催するほか、

ほ全額取りくずして引き上げ幅を抑制するとともに、介護保険料区分を8段階9区分から10段階12区分に増やし、累進性を高めるとともに、低所得者の保険料の上昇を可能な限り抑制する内容となっております。

◆市民との協働を本格的に進め、心が通い合い、みんなでつくる蔵

◆引き続き、市財政の健全化を進め、持続可能な都市・蔵へ

第5の柱である「市民との協働を本格的に進め、心が通い合い、みんなでつくる蔵」第6の柱であります「引き続き、市財政の健全化を進め、持続可能な都市・蔵へ」につきましては、さきほど、予算編成の基本方針で申し上げたとおりです。

以上が、平成24年度予算編成方針並びに主な事業内容であります。

「ふるさと蔵」の限らない発展に向け全力

さて、皆さんご存じのとおり、昨年9月に、蔵市在住の佐野千恵子さんから蔵市に対して1億円もの寄附をいただきました。私は、佐野さんの

蔵を思う気持ちに感動するとともに、市政に信頼を寄せてくださいたいことをたいへんうれしく思いました。

いただいた寄附金は、12月



全学年で35人程度学級実施(写真は塚越小学校5年3組)

今年度に受講されたかたへのフォローアップとして、専門コンサルタントによる起業に向けた支援も行つてまいります。

また、市民の皆さんが市内の施工業者に工事を発注して、住宅を改修される場合に、その費用の一部を助成する住宅改修資金助成金は、利用実績を勘案し、増額を図ります。

そのほか、12月から1月にかけて駅西口広場のケヤキに装飾しているイルミネーションは、節電により、23年度の実施を見送りましたが、新年度は消費電力が少ないLED照明に切り替え、電飾についてもデザインに趣向を凝らし、駅前のにぎわいを創出してまいります。



留守家庭児童指導室の延長保育を午後7時まで拡大

◆子育て支援、教育の充実など、子どもたちの笑顔あふれるまちづくり

第3の柱であります「子育て支援、教育の充実など、子どもたちの笑顔あふれるまちづくり」では、この間、一人ひとりの児童・生徒に行き届いた教育を目指し、順次、対象学年を拡大してきた35人程度学級を小学校全学年で実施するほか、特別支援教育支援員の増員を図ります。

また、昨年7月にテレビやゲームなどの電子メディアに接する時間を減らしていく、アウトメディア宣言を制定いたしました。新年度は、その取り組みの推進に向けたアウトメディアインストラクター

議会で基金を設置させていた
だきました。その用途につ
いては、地元の子どものた
のために、という佐野さんの
意向を尊重し、北小学校体育館
の全面リニューアルに活用さ
せていただくことといたしま
した。寄附をいただいた際、
佐野さんのお話のなかで、た
いへん印象的な話がありまし
た。それは、佐野さんが、小
学生の頃、当時は、本そのも
のが貴重な物でありましたが、
地元のかたが学校に来て、ご
自分の本を使って子どもたち
に読み聞かせをしてくれてい
たことが思い出に残っていた
そうです。そして、自分もい
つか地元のために、子どもた
ちのために何かしてあげたい、
との気持ちを持ち続けてきた
ことが、今回の寄附につなが
った、ということでした。

第35代アメリカ大統領、J・
F・ケネディの有名な言葉が
あります。「国があなたに何
をしてくれるかではなく、あ
なたが国のために何ができ
るかを考えてほしい」。

この言葉に対しては、さま
ざまな評価や受け止め方があ
ると思いますが、私は、市民
の皆さんが、自分たちのまち

のために、どんな小さなこと
でもできることを考え、実行
していただくことは、とても
「尊い」ことであり、それ自
体が、まちの発展のいちばん
の原動力になると確信してい
ます。そして、そのためには、
行政に対する市民の皆さんの
信頼が不可欠であります。

幸い、蕨では、多くの市民の
皆さんが、まちに愛着を感じ、
みずから、まちづくりに参加
し、市民と行政が一体となっ
て、すばらしいまちづくりが
前進してきています。私は、
市長として、蕨の将来を見据
えた市政の改革をしっかりと
進めながら、行政に対する市
民の皆さんの信頼を更に高め、
市民の皆さんとの協働による
まちづくりを推進し、ふるさ
と蕨の限らない発展のため
力を尽くしてまいります。議
員並びに市民の皆さんにおか
れましては、なお、いっそうの
お力添えを賜りますよう、心
からお願い申し上げます。平
成24年度の施政方針といたしま
す。

今議会の審議で一部事業
の修正がありました。議
会初日に述べた施政方針に
ついては、内容を変更せず
に掲載しています。

◎今議会で 可決された 議案

平成24年第1回蕨市議定会
例会に市長から提出され、可
決された議案は38件です。こ
こでは、その議案名をご紹介
します。

議案名

●新規条例

・蕨市ふるさとわらび応援基
金条例

●一部を改正する条例

- ・蕨市税条例の一部を改正す
る条例
- ・蕨市火災予防条例の一部を
改正する条例
- ・蕨市重度心身障害者医療費
の助成に関する条例の一部
を改正する条例
- ・蕨市ひとり親家庭等の医療
費の支給に関する条例の一
部を改正する条例
- ・蕨市介護保険条例の一部を
改正する条例
- ・蕨市病院事業の設置等に関
する条例の一部を改正する
条例
- ・蕨都市計画事業中央第一土
地区画整理事業施行規程を

定める条例の一部を改正す
る条例

- ・蕨市営住宅設置及び管理条
例の一部を改正する条例
- ・蕨都市計画事業下蕨土地
画整理事業施行規程を定め
る条例の一部を改正する条
例
- ・蕨都市計画事業錦町土地
画整理事業施行規程を定め
る条例の一部を改正する条
例

例

- ・蕨市立公民館設置及び管理
等に関する条例の一部を改
正する条例
- ・蕨市立図書館設置及び管理
条例の一部を改正する条例
- ・蕨市水道事業の設置等に関
する条例の一部を改正する
条例

条例

●平成23年度補正予算

- ・蕨市一般会計補正予算（第
3号）
- ・蕨市国民健康保険特別会計
補正予算（第1号）
- ・蕨市公共下水道事業特別会
計補正予算（第1号）
- ・蕨都市計画事業錦町土地
画整理事業特別会計補正予
算（第1号）
- ・蕨都市計画事業中央第一土
地区画整理事業特別会計補
正予算（第1号）
- ・蕨市介護保険特別会計補正
予算（第2号）
- ・蕨市後期高齢者医療特別会

計補正予算（第1号）

●平成24年度当初予算

- ・蕨市一般会計予算
- ・蕨市国民健康保険特別会計
予算
- ・蕨市公共下水道事業特別会
計予算
- ・蕨都市計画事業錦町土地
画整理事業特別会計予算
- ・蕨都市計画事業中央第一土
地区画整理事業特別会計予
算
- ・蕨市介護保険特別会計予算
- ・蕨市後期高齢者医療特別会
計予算
- ・蕨市立病院事業会計予算
- ・蕨市水道事業会計予算
- 人事案
- ・人権擁護委員候補者の推薦
について
- ・人権擁護委員候補者の推薦
について
- その他
- ・蕨市総合社会福祉センター
内社会福祉施設の指定管理
者の指定等について
- ・埼玉県後期高齢者医療広域
連合規約の変更について
- ・市道路線の廃止について
- ・市道路線の認定について